

不安が安心に変わるとき

管理課長 弥重 寿樹

今春、正門横にある駐車場の奥に環境省レッドリストに掲載されている「キンラン」の自生が新たに確認されました。学校管理棟などの改築工事に向けて、伐採予定である樹木の足元に一株だけひっそりと黄色い可憐な花を咲かせているのです。

その後、敷地内の別な場所に移植しました。日本の美しい自然を象徴する花でもあり、来春には新たな居場所で元気な黄色い花を咲かせてほしいと思います。

睡眠の量と質を大切に

寮において児童が「眠れない」と相談しにくくことがあります。日々の暮らしの中で感情が高ぶる出来事はないか、ネガティブな刺激はないか、活動量は十分か、嗜好品に問題はないかなど原因について児童と対話しながら思考を巡らせます。

睡眠は「心身の休養」と「脳と身体を成長させる」役割があり、児童

の心身の健康にとって重要です。睡眠不足になると、小さなことでもイライラしたり、行動のエラー等を起こしやすくなると言われています。

萩山では、児童が落ち着いて生活し、日常生活の生産性が高まるよう、睡眠の量(時間)と質(休養感)の確保を大切にしています。(詳しい情報は「健康づくりのための睡眠ガイド2023」をご参照ください。)

歴史を学ぶ意義と感謝の心

7月末に中学3年生と高等部男子が国立ハンセン病資料館を見学し、証言映像や展示等を通してハンセン病問題に関する正しい歴史や治療の進展等を深く学び、人権意識を高める時間となりました。また、隔離下の状況について、「コロナを思い出す」、「戦時中でも起きていたことに驚いた」などの感想があり、しっかりと考える時間にもなりました。

見学当日はバス移動でしたが、多くの児童が運転手さんに対して、乗車時には「おはようございます」と挨拶し、降車時には「ありがとうございます」

ございました」とお礼を述べていました。「礼に始まり、礼に終わる」は相手に対する感謝の気持ちを込めた行動です。こうした行動の積み重ねが「感謝の心」を育み、人生を豊かにしてくれると思います。

デフリンピックをきっかけに

十一月、日本で初めてデフリンピックが開催されます。国際的な「きこえない・きこえにくい人」のためのオリリンピックです。補聴器等の使用は禁止されることがや、競技運営に国際手話のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が特徴となっています。大会を機に、デフスポーツやろう者の文化への理解を深めることが大切です。

また、ユニバーサルデザインや心・情報・街のバリアフリーについて、身の回りや寮外出時などに工夫されたデザインを発見したり、どうすれば困っている人の不安を安心に変えられるかを考えることで、誰もが安心して暮らせる社会の実現につながることを思います。

社会的自立に向けて

今年は終戦から八十年の節目の年であり、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて考える年だといえます。

戦時下の萩山について、昭和二十六年六月以降の「学校日誌」をめくると、防空壕構築作業や義勇隊訓練、B29来襲などの記載が散見されます。また、警戒警報と空襲警報に関しては殆ど毎日記載があり、頻繁に警報サイレンが鳴り響いていたことがわかります。終戦の翌年九月には、萩山に付設して戦災孤児や引揚孤児等が入所する「萩山学園」が一時的に設置されました。ある入所児童(小三)の作文には「お母さんがいないとたいへんさびしくてたまりません」と戦災で母を亡くした深い悲しみを綴っています。

こうした状況を二度と繰り返さないよう平和の尊さを心に刻み、児童の思いや願いを尊重しながら対話を重ね、チーム萩山として多職種・多機関と密に連携しながら最善の支援を展開してまいります。

春の全校遠足

六月十一日、全校遠足であきる野市にある秋川溪谷へ行きました。

二寮 Oさん

雨が降っていた遠足でした。でも途中、雨がやんだ時に川でスイカを冷やせし、川で生き物を捕ることもできてよかったです。

昼ごはんはバーベキューだったので、みんな協力しました。みんなの力を合わせて、おいしい昼ごはんができました。みんなの協力があつたからできた昼ごはんです。みんなが、それぞれの役割をしてできた昼ごはんなので、おいしかったです。今日一日、楽しかったです。それは、みんなの協力があつたから、楽しかったと思いました。



四寮 Nさん

あきる野市にある秋川でバーベキューと川原遊びをしました。はじめは雨が降っていたけれど、途中で雨がやみました。秋川でバーベキューをするのは初めてでした。周りが山で囲まれていて、何もないと感じました。

バーベキューでは、最初に焼きそばを作りました。焼き方や味付けも最高でおいしかったです。みんな、作った人に感謝をしていました。

そのあと、僕ともう一人のクラスメイトで肉を焼いていきました。僕たちが焼いていて楽しいと思った肉は、サイコロステーキです。皆に満足してもらうため、固くなりすぎないように、焼き加減を見極めるのが楽しかったです。また、他の肉もみんなに「おいしい」と言ってもらえて、焼いた甲斐がありました。

ご飯は炊飯器で炊いたと思うぐらいにしっかりと炊けていました。担当していたクラスメイトと一緒に取り組んでいた先生は「さすが！」と思いました。

川原遊びは、少しの時間だけでしたが楽しかったです。最初は冷たか

ったけれど、だんだん慣れて楽しむことができました。

こうして一日が終わりました。自分の好きな事や楽しい事はすぐに時間が過ぎていくと感じました。

五寮 Sさん

萩山に来て、二回目の遠足に参加できました。

思い出になったことは多くありますが、特に今回は二つのことが印象に残っています。

一つ目は「ありがとう」の多い日になったことです。火を起こして、肉を焼いてもらい、それを食べて、さらにはスイカを切ってもらった。思い返すと多くのことに、いろんな人が関わっていて「ありがとう」という場面が多かったなと思いました。

二つ目は、苦手だった肉を食べることができたことです。肉や魚が苦手な、サイコロステーキも苦手でしたが、食べてみると、噛んでも、噛んでも噛み千切れず、やっとの思いで飲み込めることができました。

その時に「おいしい」と思えました。そして「めっちゃくちゃ噛んだな」とも思いました。つまり、苦手意識のあったものを食べられたというこ

とです。ただ、バーベキューの時、みんなもいたので、うれしい顔を出すことができなかったことに、後悔をしています。

春の遠足に行くことができるのが、今年で最後になったことに少し寂しさを感じます。でも、バスの運転手さんや一緒に活動をした人たちに、繰り返し感謝の気持ちを伝えることができて良かったです。



入学式

六月十七日に中学一年生の入学式が行われました。

参加した児童は、制服に身を包み、緊張しながらも式に臨んでいました。式後には、入学式の練習や本番で頑張った事やこれから挑戦してみたいことなどを書いてもらいました。

三寮 Hさん

僕は、今回の入学式で、誓いの言葉を発表しました。「誓いの言葉」で何を書くのか悩んだけれど、学活の時間に頑張つて文章を作りました。それを寮に持ち帰って、たくさん練習しました。

当日、会場には大勢の人たちがいきました。そして、初めて大勢の人たちの前で、自分が考えた文章を発表しました。緊張はしたけれど、リハーサルの時よりも上手に、そしてハキハキと大きな声で発表できました。自分でも満足のいく入学式でした。

今回の入学式を通して、達成感や四呼間の礼など、いろんなことを得ることができました。これから、どんなことにも前向きな気持ちで取り組みようと思いました。

普段の生活の中でも、今回の入学式で得たことを生かしていきたいと思いました。



和菓子俳句

中学三年生は、毎年、国語の授業の中で「和菓子俳句」に取り組んでいます。

季節の和菓子を風物に見立てて、それぞれ俳句を一句詠みました。その一部を（本人の解説付き）紹介させていただきます

三寮 Sさん

ふと見れば

夕日着こなす ほおづきや

【解説】

和菓子の「ほおづき」を食べてみて、小学生の時に見た、夕日にあたたかほおづきを思い出して、感想を細かくして書きました

四寮 Hさん

清流や

光あつめて 星となる

【解説】

「清流」は菓名を尊重して選びました。「や」には感動の気持ちをこめています。また、反射した太陽の光を星にたとえ、天の川も連想できたらと思いました。

四寮 Kさん

朝風に

花の咲きたる 朝ぼらけ

【解説】

朝顔の咲いているときの朝風をイメージして書きました

かしわ寮 Sさん

朝顔や

眠気の中で 花が咲く

【解説】

季語は菓名を尊重して「朝顔」にしました。切れ字に「や」を選んだ理由は、花が咲いた事へのよろこび、眠気さえ忘れる感動の思いを込めました。



社会適応講座

「命と人権について学ぶ機会」として、中学三年生と高等部生を対象に、七月二十四日と二十五日に国立ハンセン病資料館を見学しました。

また、ハンセン病の回復者（平沢さん）の講演DVDも視聴しました。

一寮 Kさん

僕は印象に残っていることは二つあります。

一つ目は、いろいろな苦しいことがあっても、前を向き続けて生活をしていたということです。

二つ目は、平沢さんがDVDで言っていた感謝をもつて生活をするということでした。

どちらも「自分にできそうなことではないな」と思い、平沢さんはとてもすごいと思いました。

けやき寮 Iさん

僕が最も印象に残っているのは、平沢さんが話していた「すべての人の差別と偏見を無くしたい」という言葉です。その言葉を聞いて、どれだけ大変な思いをしてきたのかが、少しだけ分かりました。

僕は、ハンセン病資料館に来るまでは、感染力も低く、薬で治る病気について「なんか、どうでもいい」と思っていました。

実際に来てみると「その病気のせいで大勢の人が亡くなった」と知り、改めて、「どうでも良くない事だ」と思いました。

かしわ寮 Sさん

私は今までハンセン病のことをよく知りませんでした。ただ、名前だけは、ぼんやりと知ってはいました。でも、資料館に見学をさせていただけで、全生園の方々の生活やその中で使っていた道具、物、さらには短歌や詩集などを実際に見て「こういうことが本当に日本で起きて、つらい過去があったんだ」と初めて気づきました。

展示場の中に、監房の中をのぞくことができる場所がありました。そこをのぞいた時、壁に日付や入っていた方の思いが書かれていたことが私には衝撃的でした。言葉が見つからず苦しい気持ちになりました。でも、それ以上に入っていた方は苦しかったらうなと思います。

私はこういった過去が二度と繰り返さないように、頑張っていきたいです。



関東少年野球大会

六月三十日と七月十五日に関東少年野球大会へ参加しました。

二寮 Tさん

練習で取り組んだ「特打ち」を意識して打席に入ったら、けっこう打つことができました。

その他にも、練習試合でやった「振り逃げ」にチャレンジしたけれど、タイミングがズレてしまいアウトでした。でも、すぐに走り出せたので「まあまあ、よかったんじゃないかな」と思いました。

そして、試合が進むにつれて良い流れになってきました。そこで「これは、きた！」と思い、バットを振りました。すると、けっこう遠くまでボールを飛ばすことができました。また、練習から声がけを頑張りました。だから試合でも、のどがかわるまで、声を出すことができました。



林間教育

七月十七日から七月十九日まで会津高原と尾瀬沼に林間教育に行きました。

五寮 Mさん

林間教育は私にとって「萩山に来てから二番目に楽しみな事」で、早くやってみたいイベントでした。

僕は、ずっと真っ直ぐな山道を歩くことや、ホテルの皆様のご好意で花火を見ることができました。そういう経験は、初めてのことだったので、とっても楽しかったです。

二日目は尾瀬沼へのハイキングでした。私にとって、かなり辛い所もありました。特に辛かったのは上りの所です。かなり急な所が多く、最初は平気でしたが、どんどん行くにつれて疲れが倍増し、かなり辛かったです。でも、目的地に着いて、昼

ご飯を皆で食べた時は、とっても最高でした。
ホテルの食事も全部が美味しくて、最高の二泊三日になりました。



四寮 Sさん

林間教育の感想をランキングで発表します。

【楽しかったこと】

第一位はハイキングでめっちゃくちや疲れた後の昼食です。

第二位は、間近に見た花火鑑賞です。火花が飛んできそうで少し怖かったです。

【印象に残っていること・嬉しかったこと】

第一位は、自由時間にした野球です。寮の先輩に何球か投げてもらい速い球をたまたま打てたことです。他の先輩も（目で追えているし、変化がなければ当たっていたコース）と褒めてくれました。

第二位は、演芸会です。最後以外は受けていました。他寮の出し物も面白かったです。

総合福祉講座

「疑似体験を通して、合理的配慮を考え、相手の気持ちに寄り添って行動すること」について学ぶ機会として、サマースクール期間に中学一・二年生は目の不自由な方の疑似体験を、中学三年生は車椅子による介助及び自走体験を行いました。

また、体験後には、目の不自由な方のDVDを視聴しました。

さくら寮 Sさん

車椅子を体験してみて、自分でこぐのが疲れました。「上り坂だけでも押してもらえたら楽になる」と思いました。

またDVDを見て、盲導犬を連れている人の邪魔にならないように歩いたり、横断歩道では声をかけたりできると思いました。合理的配慮が広がればみんなが過ごしやすくなると思いました。

一寮 Kさん

一人で坂を上り下りするときの力の入れ方が難しかったです。

相手のことを考えて、悪路を進むのは大変でした。

この講座を通して、車椅子や盲導犬と一緒にいる方など障害のある方でも大丈夫なようにする配慮が必要だと知ることができました。これからも配慮ができるようになりたいです。

さくら寮 Tさん

目の不自由な方の体験では「転びそうだな」と思いました。また、歩いている時、自分が道の左側にいるのか、右側にいるのか、わからなかったです。

この講座を通して、声をかけて道を教えることや、電車やバスの中で席を譲ることができると思いました。

これからは、身体の不自由な方と接するときは、公平がいいのか、平等がいいのかを考えていきたいです。



夏祭り

八月十五日に夏祭りを行いました。記念館にて開会式とブラスバンド部によるオープニングコンサート後、体育館で模擬店と盆踊りを楽しみました。

一寮 Sさん

萩山実務学校の夏祭りは、みんなの協力があって、楽しくできました。

準備の時、クラブでは二人一組で協力して、机を体育館に運びました。

また寮では、模擬店で出すジュースの準備や机などの場所を決めて設置し、その後一度寮に戻り浴衣に着替えました。

夏祭りが始まった最初は店番をしました。キンキンに冷えたジュースを机に置きながら、大きな声で呼び込みをしました。

店番が終わってからは、他の寮の模擬店を回りに行きました。他の寮の模擬店も楽しく一番は決められないぐらいに楽しめました。

最後に盆踊りを踊り、夏祭りが終わりました。

関東少年水泳大会

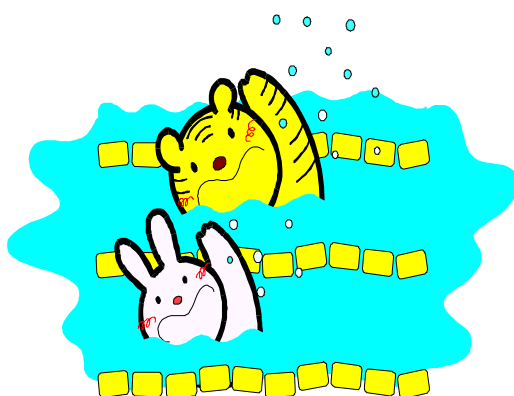
六寮 Iさん

八月二十一日、日環アリーナ栃木で行われた関東少年水泳大会に参加しました。

バスで会場まで行きました。会場についてウォーミングアップをしました。僕が出場した種目は平泳ぎです。タイムは二十五秒五十二で、六人中四番目でした。

練習通りの泳ぎができなく、悔しかったです。

会場ではお昼ごはんを食べました。お弁当のおかずは生姜焼きでした。おいしかったです。



校内水泳記録会

この夏、授業や寮の自由時間を使って水泳に取り組みました。そして、自分自身の頑張りを確認する場として八月二十九日に校内水泳記録会が行われました。

三寮 Uさん

僕は「水泳」という言葉を聞くと、前までは「嫌だな」「面倒くさいな」と思っていました。

でも、萩山に来て先生達に教えてもらい、水泳を少し「楽しい」と思えるようになりました。

だから「このまま、水泳を好きでいられるようにしたい」ということができました。

今年の夏で、僕は水泳をすごく好きになりました。

かしわ寮 Hさん

校内水泳記録会に参加しました。私は全四種目（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ）にエントリーしました。

どの種目も夢中になって泳ぎました。その中でも、クロールが一番上手く泳げました。泳いでいる時に、

みんなの応援の声が聞こえてきて、嬉しかったです。

記録会に参加して、とても疲れましたが楽しかったです。そして、自分なりに頑張れたと思います。

「泳ぎきった時は、達成感があつた」「今までの努力が実った」

「来年も全種目に出場する」
終わった後、色々な想いにあふれた記録会でした。



「お知らせ」

苦情解決制度第三者委員の御紹介

萩山実務学校では社会福祉法第八十二条に基づいて、三名の方に第三者委員を委嘱しています。

委員の皆様を御紹介します。
○西東京共同法律事務所弁護士 片岡智子様

○児童養護施設福音寮副園長 高橋幸成様

○公認心理師・臨床心理士 小玉昌直様

今年度も、意見や苦情などの解決に御尽力をいただいています。

福祉サービス第三者評価の

受審について

サービスの質の向上を目指して、

萩山実務学校では、福祉サービス第三者評価を今年度も受審いたします。

調査に当たっては、子供たちにもアンケートなどを行う予定です。評価結果は、とうきょう福祉ナビゲーション（通称：福ナビ）で公表します。

御理解・御協力を、どうぞよろしくお願い致します。

編纂後記

編纂後記

今年の夏も、たくさんの方の行事がありました。萩山での生活の中で培ってきたものが、生かされていきました。「弱み」が「強み」に変わったり、そ

の逆もあつたり。数々の体験の中で葛藤があつたと思います。

しかし、子供たちは挑戦すること諦めませんでした。一番大切な事は、「挑戦を続ける事、あきらめない事」だと思います。挑戦をしなれば、失敗も成功もあります。失敗した分だけ成長があります。

職員一同、子供たちの挑戦する姿に感動し、私たちも「あきらめない」気持ちで、子供たちから多くの事を学び、日々精進して参ります。

今後とも、子供たちの活動や生活の様子をお伝えしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理（庶務担当）

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）

